



林野庁  
東北森林管理局  
津軽白神森林生態系  
保全センター  
平成 29 年 1 月 17 日  
No.127

## ニホンジカの試行的捕獲終了

昨年 10 月 25 日（火）、深浦町の国有林内に小型囲いわなを設置して以来、毎週センサーカメラのデータ回収や点検に通い、深浦森林事務所の首席森林官には何度も見回りのご協力をいただきながら、12 月 22 日（木）に試行的捕獲の作業を終了しました。わなの設置は当センター初の試みですので、今回はその様子や撮影された動物などについて、少々詳しくご紹介します。



まずはわなの設置箇所についてですが、昨年ニホンジカ（以下シカ）が撮影された所から数 10 m 離れた旧道沿いを選びました。写真①の右上にわなが小さく写っていますが、わなに続く右側の道が旧道で、左側の道は現在使われている作業道になります。藪の陰になり人目に付きにくく、かつ動物が歩きやすい所を勘案してここに狙いを決めました。



写真②が、誘引剤をまいたわなの全景です。薄茶色の四角いものが本誌昨年 10 月号でご紹介した固形塩『ユクル』で、黄緑色に見えるものが『ヘイキューブ』です。これはマメ科のアルファルファという牧草を乾燥させてキューブ状に固めたもので、牛や羊などの飼料として使われています。アルファルファといえば我々ヒトもサラダなどにして食べますが、このヘイキューブも抹茶の様な香りがしてなかなか美味そうです。



そして誘引される動物を撮影するため、わなに 2 種類のセンサーカメラを取り付けました③。右上のカメラが静止画用で Fieldnote、左下が動画用で TREL10J という機種を使用しています。わなから少し離れた立木に付けたかったのですが、丁度良い木が無く、杭を立てて設置すれば盗難の恐



④動物目線ではこんな具合

れもあるため、やむを得ず檻に直接据えつけました。

動物目線でわなを見ると、④の様な感じでしょうか・・・これは絶妙の塩加減だ！（ユクル）、こいつはうめえ！（ヘイキューブ）などとグルメぶったシカが味わいながら無我夢中で前進し、ふと気付けば檻の中。そして檻内に仕込んだ細いワイ

ヤーに鼻先が触れた瞬間、入口のゲートが落ちて一丁上がり！と筋書き通りに事が運べば苦労はしません。

試行結果について、時系列を追って表 1 に、撮影された動物については表 2 にまとめてみました。わなにに取り付けたカメラで撮影された動物は、静止画・動画合わせて 7 種（不明種除く）20 個体でした。檻の中まで入ってきて動画撮影されたのは、わずかキジバト 1 羽・子ザル 1 頭・ネズミ 2 匹にとどまり、動物が捕獲される事は 1 度もありませんでした。錯誤捕獲を懸念していたカモシカについては、わなから 50 m ほど離れた立木に設置していた別件の哺乳類調査用のカメラで 1 頭、檻に付けたカメラで 1 頭⑤がそれぞれ撮影されましたが、誘引剤を食べる様な行動は確認されませんでした。

表 1 小型囲いわなの稼働状況等

月 日	わな稼働状況等（青字：動画撮影されたもの）
10. 25	囲いわな・センサーカメラ・ユクル設置。ゲートを固定した状態でしばらく誘引状況観察。
10. 26	23:10 アナグマ 1 頭撮影。檻の外側を通過し、内部には入らず。
11. 7	わな稼働開始。
11. 8	11 月 10 日までの 3 日間で動画の誤作動 20 回（カメラのストラップが写り込む）。 11 月 11 日に対処。
11. 12	12:31 キジバト 1 羽撮影。檻の中から歩いて外へ出る。
11. 18	檻の内外にヘイキューブを撒く。ゲートを固定した状態でしばらく誘引状況観察。
11. 19	16:10 子ザル 1 頭撮影。檻の中から格子をくぐり抜けて外へ出る。誘引剤には無関心。 わなから 50m ほど離れた場所に設置していたカメラでカモシカ 1 頭撮影。
11. 24	カモシカ 1 頭撮影。檻の外側を通過し、内部には入らず。
12. 3	20:21 と 23:11 にネズミ類 1 匹ずつ撮影。ヘイキューブを物色し、下に潜り込む。
12. 5	カモシカがしばらく撮影されなくなったため、わな再稼働。
12. 7	積雪による誤作動でゲート閉まる。
12. 16	TREL10J のカバーが凍りつき、撮影データ回収できず。
12. 22	カメラ撤去、ゲート固定。

わな稼働日数・・・11 月：10 日，12 月：14 日，合計 24 日間

結局誘引剤に興味を示した動物は、テン 1 頭のみでした⑥。ある日突然大きな檻と

豊富な餌が出現すれば、やはり野生動物も「何か！？」と警戒はするのですが、それにしてもなかなか手厳しい結果です。さらに12月に入ると、積雪による誤作動でゲートが落下し、カメラの保護カバーが凍りついてデータ回収できなくなるなど、冬の東北ならではの不具合も浮き彫りになりました⑦。

表2 わな設置期間中に撮影された動物

種名	静止画	動画	合計
ニホンザル	10	1	11
テン	1		1
アナグマ	1	1	2
カモシカ	1		1
不明ネズミ類		2	2
キジバト		1	1
シジュウカラ	1		1
ルリビタキ	1		1
個体数合計	15	5	20
種数合計	6	3	7



⑤わなを不審げに見るカモシカ



⑥ハイキューブに興味を示すテン



⑦冬ですから・・・

今年度の試行は約2ヶ月間と短期間でしたが、将来的にわなを用いた捕獲事業を実行する際の手順の確認や、問題点の洗い出しなどが一通りできました。今回気付いた改善すべき点を踏まえ、来年度以降も引き続き試行的捕獲を継続していく予定です。(有本)

## ～職員のコラム～

昨年を振り返って

行政専門員 川村 幸春

国の特別天然記念物『トキ』が見たくて佐渡島に渡ることにした。

フェリー乗り場で担当者から「青森からですか、八甲田の紅葉にはかなわないと思うが大佐渡スカイラインの紅葉もきれいだよ」と教えられた。

今回は『トキ』と佐渡金山跡地を見学する予定にしていたが、知らない土地での一言は妙に有難かったりするもので回って見ることにした。時間的に強行軍となったが、私には満足のいく景色ではあった。同行する相棒は青森県に生まれ育ち、私の勤務の関係で県内はじめ多くの地区に住居し、行く先々で四季折々に変化する自然の美しさに触れて来ており、何か物足りなさそうな雰囲気ではあった。

そして今回の目的である『トキ』だが立派な施設で大切に保護されていて、あの朱鷺色に輝く翼を広げて飛ぶ姿を見られた時はほんとうに感動ものだった。

大勢のボランティアガイドの方がいて対応してくださり「自然界に離されている個体が、朝の早い時間帯に田んぼに来ることがあるよ」と教えてくれたので、朝早くでかけてみたが会えることはなかった。次回の楽しみにしたいと思っている。

田んぼでは『トキ』が安全に住めるように農薬を使わないなど、様々な取り組みをしているようだ。この地域では、佐渡島をそして『トキ』を一体となって守り育てていくという姿勢を行く先々で強く感じた今回の旅であった。

我が身の昨年を振り返ってみると、巡視活動や森林教室などで白神をPRできていたのか。昨年末の巡視員会議で本年度も多くの違法伐採や数カ所のたき火跡が確認されるなど相変わらず白神山地世界遺産地域でのマナー違反が報告されていた。

違反と知ってか知らずか確認はできないが、違反の未然防止対策の足りなさをおもいしらされている。今後、いっそう巡視活動や森林教室などを通じ地域一体となって白神山地の適正な管理に資するような取組をしていかなければならないと思ったところである。

それにしても、センター発足時から森林教室や自然再生活動等の様々な取り組みを県内外の者、遠くはアメリカやイギリスなどからの参加者など、多くの方々にご協力いただきながら実施しておりますが、最近、関東地方の方や九州地方の方、青森市や弘前市の多くのなじみの皆様から連絡が少なくなっているのは、どうしているのか気になるものですね。

年の初めから、くどい話になりましたが、今年も様々な取り組みを皆様の助けを借りながら行って行く事になると思いますのでご協力の程よろしくお願いいたします。

---

## = 編集後記 =



昨年は、当センターの諸活動に対し格別なご理解とご協力を賜り、また新年にはたくさんの方々から年賀状を頂きありがとうございます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ新たな年のスタートにあたってのご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。(職員一同)

